

未来づくりサポート大作戦について

教育委員会事務局未来づくりサポート室

「未来づくりサポート大作戦」の概要について

政策・施策

- ◎ ふるさと教育の推進 ⇒ 学校教育の充実
- ◎ 生涯学習の推進 ⇒ 社会教育の充実

視点・課題

- 1 学力向上
- 2 不登校対策
- 3 高校魅力化サポート
- 4 グローバル人材育成

※ 新たなまなびの場づくり(地域教育サポート事業)と既存事業の拡充・見直しによりプランを検討

未来づくり大作戦関連事業	R5当初予算	うち 大作戦関連	主な内容
1. 【新規】 地域教育サポート事業費	21,261千円	21,261千円	① 小学生：放課後等学習支援/放課後学習室 ② ジョイントスクールの設置 ③ 学習支援センター（公営塾）の企画検討 ④ 教育研究所の組織強化
2. 高校魅力化サポート事業費	9,653千円	-	⑤ （未計上）高校生海外インターンシップ
3. 学校と地域の連携・協働推進事業費	5,651千円	-	⑥ 地域学校協働活動（学習ボランティアへの協力）
4. 学校教育事務費	6,291千円	4,900千円	⑦ 部活動指導員の拡充（全体予算）
5. 令和・南部藩寺子屋交流事業費	700千円	-	
6. 学力向上対策事業費	21,246千円	720千円	⑧ 読解力向上プロジェクト
7. 新型コロナウイルス感染症予防対策事業費	38,336千円	33,936千円	⑨ 教員業務支援員の配置
8. 特定教科集中対策事業費	22,536千円	9,621千円	⑩ 学習支援員の増員（全体予算） ⑪ 実用英語技能検定の拡充（全体予算）
9. 育英事業費	29,278千円	-	
10. 学びのまちづくり推進事業費	51,700千円	600千円	⑫ （仮称）キッズワールドクラブ・ジュニアワールドクラブ（地域人材活用）
合 計	209,653千円	74,039千円	

今後の 推進計画 (案)	令和6年度	令和7年度
	⑬ 中学生：放課後等（長期休業期間）学習支援/学習支援センター ⑭ 高校生：学習支援センター（公営塾）の設置 ⑮ 適応指導教室のサテライト設置 ⑯ コーディネート人材の配置	⑰ 交流事業の拡充 ⑱ 育英事業の見直し

小学生放課後等学習支援（学力向上）

地域の学習ボランティア等（地域学校協働活動）が、放課後や長期休業期間に学習支援（補習・宿題）を実施します。

対 象 者	市内小学校の児童
実 施 回 数	週2回程度
会 場	各小学校

ジョイントスクールの設置（不登校対策）

⇒ 適応指導教室のサテライト設置

「学習をつなぐ」「心をつなぐ」「生活をつなぐ」絆づくり（居場所・相談）の場として、東西中学校区に設置します。専門的な支援員による家庭訪問や面接相談および学習支援を行います。

対 象 者	不登校や学校生活に不安のある児童生徒及び保護者
会 場	東中学校エリア = 検討中 西中学校エリア = 検討中

○学習支援センター（公営塾）開設に向けた調査・企画

- ・ニーズ調査
- ・運営の企画立案
- ・学習カリキュラム、使用教材等
- ・講師管理計画
- ・中学生「集中講座」の企画立案

○学習支援センター（公営塾）開設準備

- ・施設的环境整備
- ・備品
- ・使用教材
- ・通信環境/Wi-Fi 等

※コーディネート人材確保含む

中学生学習支援（学力向上・高校魅力化・グローバル人材育成）

学習支援センター（公営塾・遠野寺子屋）が実施する学習支援。

対 象 者	中学・高校生
実 施 日	【仮】平日17:00～20:00、日曜14:00～17:00
会 場	学習支援センター

中学生放課後等学習支援（学力向上）

公営塾のスタッフが、長期休業期間等に特別集中講座等を実施します。

対 象 者	市内中学校の生徒
実 施 回 数	【仮】夏・冬・春の長期休業期間に各1回程度
会 場	各中学校 又は 学習支援センター

読解力向上プロジェクト（学力向上）

新聞記事を基に作成された教材と一人一台端末を活用し、児童生徒の読解力向上を目指す。

対 象 者	市内小中学校の児童生徒
-------	-------------

教員業務支援員の配置（学力向上）

教員の負担軽減を図り、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できるよう、学習プリント等の準備や採点業務、消毒作業等をサポートするスタッフを小中学校へ配置する。

高校生海外インターンシップ（グローバル人材育成・高校魅力化）

市内2校の高等学校と人材育成に関する3者連携協定に基づき、高校生の海外インターンシップを実施する。※令和4年度は台湾（産業部商工労働課が担当）

対 象 者	市内高校の生徒
-------	---------

（仮称）キッズワールドクラブ・ジュニアワールドクラブ（グローバル人材育成）

地域人材の協力を得て、国際理解や楽しく英語に接するイベントを実施する。

対 象 者	幼児・市内小学校の児童
-------	-------------

部活動指導員の拡充・学習支援員の増員・実用英語技能検定の拡充（学力向上）

交流事業の拡充・育英事業の見直し